

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4191200064		
法人名	九州メディカル・サービス株式会社		
事業所名	グループホーム安心しらかべ		
所在地	佐賀県三養基郡みやき町大字白壁244番地1		
自己評価作成日	令和6年3月1日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市天神一丁目4番15号		
訪問調査日	令和6年3月22日	外部評価確定日	令和6年5月8日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

入居者本位の介護を第一としており、その人がその人らしくご本人様のペースで楽しく生きがいを持ち過ごして頂けるように支援を行っています。

施設として地域との交流を大事にし地域の行事に参加したり、消防訓練や夏祭りなど大きな行事の際には近隣の方々をお招きし参加して頂いています。近年コロナ禍により地域の方と交流を図る事が困難な状況が続いていましたが、コロナ5類への緩和に伴い少しずつ外出する機会も増えご利用者様にも喜んで頂いており、その時の様子を写真やブログによりご家族様にも見て頂き施設での様子をお伝える事が出来ています。

医療面では協力医療機関である仁徳会今村病院と訪問看護ステーションあんしんとの連携により、ご利用者様の健康面や急変時の迅速な対応が来ています。

さらに、理学療法士との連携によりご利用者様一人一人に合った生活機能の向上に取り組み、安心して生活する事ができるように支援を行っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

協力医療機関である仁徳会今村病院と連携し、その特性(医療と介護の専門性)を生かした高齢者への生活支援の実践はグループホーム安心しらかべの大きな強みである。パンフレットに記されているように、その人らしい暮らしを本人や家族とそして専門スタッフと一緒に考えることを大事にされている「家」である。コロナ禍で外との交流を自粛する期間が長かったが、5類となったことで少しずつ外出の機会や地域との交流の機会を増やしている。災害を想定した実践的な訓練は年2回実施されるており、消防署や消防団との協力体制も構築されている。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己 外部	項目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)		
		実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I. 理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時に職員全員で理念の唱和を行い、理念を念頭に業務に取り組んでいる。	朝礼時に職員全員で理念の唱和を行い、理念を念頭に業務に取り組んでいる。	管理者と職員みんなで作った理念はフロアーに掲示され、毎朝唱和している。唱和して仕事に入ることによって気持ちも新たにできる。人としての尊厳、その人らしい暮らし、笑顔のある暮らし、地域との絆など8項目あり、より具体的でわかりやすい理念となっている	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	コロナ感染により外部との交流が困難な状況が続いているが、消防訓練や運営推進会議の際には地域の方へ案内を行い参加して頂いている。	コロナ感染により外部との交流が困難な状況が続いているが、消防訓練や運営推進会議の際には地域の方へ案内を行い参加して頂いている。	傾聴ボランティアや幼稚園生の訪問など以前は積極的に交流していた。しかしコロナ禍で現在は自粛している。今後は地域の感染状況を見ながら、交流の機会を作っていきたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の際に、ご家族や地域の方、行政の方と情報交換を行い認知症の理解や支援に努めている。	運営推進会議の際に、ご家族や地域の方、行政の方と情報交換を行い認知症の理解や支援に努めている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	施設の事業計画や行事、ご利用者の近況報告を行っている。書面にて資料をお渡しする際はご意見や要望を確認し頂いた意見や情報を元に職員で話し合いサービス向上に繋がるように努めている。	施設の事業計画や行事、ご利用者の近況報告を行っている。書面にて資料をお渡しする際はご意見や要望を確認し頂いた意見や情報を元に職員で話し合いサービス向上に繋がるように努めている。	令和5年5月から施設内での開催を実施している。委員の構成は行政担当者、地域代表者、家族などとなっている。開催期日は事前に伝え、欠席者には管理者本人が自宅を訪問し、議事録を手渡ししている。家族へも郵送している。会議は施設の現状報告、出席者との情報交換が行われており、貴重な意見や要望は職員で共有し取り入れている。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	市町村や地域包括支援センターの方と情報交換を行い、協力関係の構築に努めている。定期的に開催されるネットワーク会議に参加し事業所の実績やサービスを伝えられるように取り組んでいる。過去に事例発表を行い各職種の方よりご意見を頂き実際にケアに繋げる事が出来た。	市町村や地域包括支援センターの方と情報交換を行い、協力関係の構築に努めている。定期的に開催されるネットワーク会議に参加し事業所の実績やサービスを伝えられるように取り組んでいる。過去に事例発表を行い各職種の方よりご意見を頂き実際にケアに繋げる事が出来た。	施設の空き状況を伝え、入居に関する連携を図っている。生活保護の入居者も居られ、担当職員の定期的な訪問もあり、生活の様子を伝えている。行政の担当者とは顔の見える関係であり、協力関係が築かれている。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、外部の研修や年間スケジュールに沿って施設内で勉強会、身体拘束適正化委員会を行いどのような行為が身体的拘束に該当するのかなど事業所全体で理解を深めている。	身体拘束について、外部の研修や年間スケジュールに沿って施設内で勉強会、身体拘束適正化委員会を行いどのような行為が身体的拘束に該当するのかなど事業所全体で理解を深めている。	身体拘束適正化委員会は管理者を中心に4人職員が構成メンバーである。3か月に1回会議が行われている。マニュアルも整備されており、いつでも確認することができる。接遇の研修も定期的に行われており、職員の発する言葉の重みについても顧みる機会がつくられている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止について、外部の研修や施設内で勉強会を行い事業所全体で理解を深めている。新職員入職時には虐待防止について研修を行い細心の注意を払い虐待防止に努めている。	虐待防止について、外部の研修や施設内で勉強会を行い事業所全体で理解を深めている。新職員入職時には虐待防止について研修を行い細心の注意を払い虐待防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	施設内での勉強会を行い職員の学ぶ機会を設けている。	施設内での勉強会を行い職員の学ぶ機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居の希望があれば事前に施設見学や十分な説明を行ない、また契約時には重要事項説明書をもとに再度説明し、双方が納得の上で契約を行っている。	入居の希望があれば事前に施設見学や十分な説明を行ない、また契約時には重要事項説明書をもとに再度説明し、双方が納得の上で契約を行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議やサービス担当者会議の際などにご意見や要望を伺っている。また、玄関に意見箱を設置して、運営に反映できるように取り組んでいる。 ご意見などない場合でも、「〇〇年〇月から〇〇月まで要望・苦情なし」と記載し掲示している。	運営推進会議やサービス担当者会議の際などにご意見や要望を伺っている。また、玄関に意見箱を設置して、運営に反映できるように取り組んでいる。 ご意見などない場合でも、「〇〇年〇月から〇〇月まで要望・苦情なし」と記載し掲示している。	利用者の生活の様子を少しでも、理解していただくように、請求書に写真やコメントを添えて郵送している。時にはレクリエーションの時間に作成したものを送ることもある。介護保険の報酬改正や制度改正などは、一方的な通達にならないように心がけている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のカンファレンス時や意見の提案があればその都度、話し合いを行っている。又、定期的に職員の面談を行いその時に出た、意見や要望を運営に反映できるように取り組んでいる。	毎月のカンファレンス時や意見の提案があればその都度、話し合いを行っている。又、定期的に職員の面談を行いその時に出た、意見や要望を運営に反映できるように取り組んでいる。	年2回の個人面談による人事評価が行われている。職員の要望で物品購入を検討したり、レクリエーションの充実を図れたケースもある。ウッドデッキが老朽化している問題についても改修の提案がされている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	外部研修に参加の希望があれば対象者に参加を促したり、可能な限り勤務時間内に参加ができるようにし、働きやすい環境を提供できるようにしている。	外部研修に参加の希望があれば対象者に参加を促したり、可能な限り勤務時間内に参加ができるようにし、働きやすい環境を提供できるようにしている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	定期的な職員面談にて職員個人個人のケアの力量や改善点等を話し合い、本人の課題とその改善を念頭に業務にあたることができるよう努めている。	定期的な職員面談にて職員個人個人のケアの力量や改善点等を話し合い、本人の課題とその改善を念頭に業務にあたることができるよう努めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会を通じて他事業所の職員と交流を深め情報交換を行いサービスの向上に取り組んでいる。	グループホーム連絡協議会を通じて他事業所の職員と交流を深め情報交換を行いサービスの向上に取り組んでいる。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前に本人様の状態を確認し職員間で情報共有をし安心して過ごして頂けるように職員全体で取り組んでいる。	入居前に本人様の状態を確認し職員間で情報共有をし安心して過ごして頂けるように職員全体で取り組んでいる。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	本人やご家族の要望、意見を事前にしっかりと確認を行い、施設として説明を行ない本人や家族の希望に沿ったケアが出来るように努めている。	本人やご家族の要望、意見を事前にしっかりと確認を行い、施設として説明を行ない本人や家族の希望に沿ったケアが出来るように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に本人やご家族と話し合いを行ない、計画作成担当者を中心に全職員でサービスを開始するにあたって必要な支援について話し合い、適切な支援・サービスを提供出来るように努めている。	入居前に本人やご家族と話し合いを行ない、計画作成担当者を中心に全職員でサービスを開始するにあたって必要な支援について話し合い、適切な支援・サービスを提供出来るように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ご利用者と職員一緒に掃除や洗濯ものをたたむ作業など日常生活作業を行ったり、役割を持って過ごす事ができるようにしている。 又、出来る事は可能な限り本人に行って頂き、本人本位の支援を提供出来るように努めている。	ご利用者と職員一緒に掃除や洗濯ものをたたむ作業など日常生活作業を行ったり、役割を持って過ごす事ができるようにしている。 又、出来る事は可能な限り本人に行って頂き、本人本位の支援を提供出来るように努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	サービス担当者会議の際など定期的にご家族の要望や意見を確認したり、施設での状況を報告し情報を共有する事で共にご利用者を支えていける関係作りに努めている。	サービス担当者会議の際など定期的にご家族の要望や意見を確認したり、施設での状況を報告し情報を共有する事で共にご利用者を支えていける関係作りに努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居時に本人や家族から得た情報を元に、馴染みの方と関係が途切れないように、年賀状や外出が可能な時は外出支援を行っている。また、お気に入りの服や家具の持ち込みにて馴染みの空間に近い環境の提供に努めている。	入居時に本人や家族から得た情報を元に、馴染みの方と関係が途切れないように、年賀状や外出が可能な時は外出支援を行っている。また、お気に入りの服や家具の持ち込みにて馴染みの空間に近い環境の提供に努めている。	入居時のアセスメントで、馴染みの人たちの確認を行っている。現在は外出の制限はしておらず、彼岸参りや、外食、一時帰宅などが行われている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	毎朝の体操やレクリエーション、行事などを通して、コミュニケーションの機会を増やし交流が図れるようにしている。	毎朝の体操やレクリエーション、行事などを通して、コミュニケーションの機会を増やし交流が図れるようにしている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居や転居された後でも、必要に応じて相談や助言が出来るように努めている。	退居や転居された後でも、必要に応じて相談や助言が出来るように努めている。		

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご利用者一人一人に担当を決め、ご利用者の希望や要望の把握に努めている。困難な場合には日常のケアや状態観察、ご家族からの情報収集を行い出来るだけ本人本位に検討している。	ご利用者一人一人に担当を決め、ご利用者の希望や要望の把握に努めている。困難な場合には日常のケアや状態観察、ご家族からの情報収集を行い出来るだけ本人本位に検討している。	職員1人に対し利用者2人から3人の担当となっている。介護計画に沿った生活支援の実践、モニタリングが行われている。担当制ということでより親密なコミュニケーションをとることができている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人の話を傾聴したり、ご家族の方より話を伺うことで個々の生活歴の把握に努めケアに反映できるようにしている。	本人の話を傾聴したり、ご家族の方より話を伺うことで個々の生活歴の把握に努めケアに反映できるようにしている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	各フロア毎に日々の状況を記録に残し、全体朝礼時に特記事項は周知している。又、カンファレンスや職員間での情報交換を行い、現状を把握した上で適したケアに努めている。	各フロア毎に日々の状況を記録に残し、全体朝礼時に特記事項は周知している。又、カンファレンスや職員間での情報交換を行い、現状を把握した上で適したケアに努めている。		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人、ご家族の意見や要望を把握・確認し職員や関係者で話し合いを行い本人本位の介護計画を作成している。又、定期的にモニタリング評価を見直しを行っている。	本人、ご家族の意見や要望を把握・確認し職員や関係者で話し合いを行い本人本位の介護計画を作成している。又、定期的にモニタリング評価を見直しを行っている。	施設の中に3人の介護支援専門員の有資格者がいる。概ね週1回 協力医の訪問があり、訪問看護は24時間体制、月1回の理学療法士による機能訓練の指導が行われている。専門職との連携と介護職による毎日の訓練の実施により移乗動作や立ち上がり動作が容易にできるようになった利用者も居られる。計画の見直し期間は3か月ごとに行われている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人記録や業務日誌等日々の記録を行ない、職員間で情報の共有を行っている。又、日々の記録は介護計画に活かしている。	個人記録や業務日誌等日々の記録を行ない、職員間で情報の共有を行っている。又、日々の記録は介護計画に活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	関係医療機関と連携し可能な限り柔軟な支援サービスを実施出来るように取り組んでいる。	関係医療機関と連携し可能な限り柔軟な支援サービスを実施出来るように取り組んでいる。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	外出レクリエーションでは近くのパン屋さん等に出かけ天候が良ければ購入した物を外で食べたりと安全に楽しんで頂けるように支援している。施設内の行事の際にみやき町役場より物品などレンタルしている。	外出レクリエーションでは近くのパン屋さん等に出かけ天候が良ければ購入した物を外で食べたりと安全に楽しんで頂けるように支援している。施設内の行事の際にみやき町役場より物品などレンタルしている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	かかりつけ医がある場合は継続で きるよう説明を行っている。本人や ご家族の希望があれば協力医療機 関の訪問診療を利用し適切な医療 の提供が受けられるように支援して いる。	かかりつけ医がある場合は継続で きるよう説明を行っている。本人や ご家族の希望があれば協力医療機 関の訪問診療を利用し適切な医療 の提供が受けられるように支援して いる。	本人や家族の希望するかかりつけ 医となっている。専門医の受診は家 族と協力しながら、時には日頃の様 子を伝えるために職員が付き添うこ ともある。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪 問看護師等に伝えて相談し、個々の利用 者が適切な受診や看護を受けられるよう に支援している	ご利用者の状態観察を行い、訪問 看護師と密に情報の共有を行って いる。状態の変化が見られた際は 訪問看護師と連携を図り、かかりつ け医や協力医療機関の受診など適 切な対応が出来るような支援体制を とっている。	ご利用者の状態観察を行い、訪問 看護師と密に情報の共有を行って いる。状態の変化が見られた際は 訪問看護師と連携を図り、かかりつ け医や協力医療機関の受診など適 切な対応が出来るような支援体制を とっている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院できる ように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。又は、そうした場合に備え て病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時の際は情報交換を密に行 うようにしている。入院時は入院先 の担当者と情報交換を行ない、可 能な限り早期退院できるように話し 合いを行っている。	入退院時の際は情報交換を密に行 うようにしている。入院時は入院先 の担当者と情報交換を行ない、可 能な限り早期退院できるように話し 合いを行っている。		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期について入居時に 本人やご家族の希望を確認してい る。入居者の状態変化に応じて随 時意向を確認して、ご家族・主治医・ 訪問看護・職員が連携して本人の 望む支援が出来るように努めてい る。	重度化や終末期について入居時に 本人やご家族の希望を確認してい る。入居者の状態変化に応じて随 時意向を確認して、ご家族・主治医・ 訪問看護・職員が連携して本人の 望む支援が出来るように努めてい る。	近年は看取りの実績はない。主治 医からの病状の説明を受け、入院 を選択されるケースが多くなってい る。看取りに対する施設の体制は、 看取りに関する年間の研修もおこな われており、また24時間体制の訪 問看護ステーションとの連携もあ る。	

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時対応マニュアル及び訪問看護連絡マニュアルを整備して、急変や事故発生時に実践出来るように努めている。	緊急時対応マニュアル及び訪問看護連絡マニュアルを整備して、急変や事故発生時に実践出来るように努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に2回、消防避難訓練を実施している。より実践に近い形で消防職員など関係者に立ち会ってもらったり、区長や近隣の地域の方にも参加して頂いている。	年に2回、消防避難訓練を実施している。より実践に近い形で消防職員など関係者に立ち会ってもらったり、区長や近隣の地域の方にも参加して頂いている。	5月と10月年2回、日中想定と夜間想定訓練が利用者と一緒に行われている。避難場所は徒歩3分程度の公民館である。行政配布の洪水マップでは浸水想定区域の危険区域ではないもののBCP(事業継続計画)策定も法人内で検討を重ねられている。非常用食料や備品も約3日分備蓄されている。	
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	接遇の外部研修や勉強会を行い、特に言葉遣いに注意し、一人一人に合わせた声掛けや対応に配慮している。職員面談時にも同様に接遇マナーについて適切なケアが出来る様に話し合いを行っている。	接遇の外部研修や勉強会を行い、特に言葉遣いに注意し、一人一人に合わせた声掛けや対応に配慮している。職員面談時にも同様に接遇マナーについて適切なケアが出来る様に話し合いを行っている。	職員研修はウェブ研修が多い。3か月に1回目標を挙げて具体的な取り組みを行っている。今期は「大きな声を出さない」という目標である。目立たずさりげない声掛けや対応を心掛けている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	個々の思いや希望を日々の生活の中で確認し、その人に合ったサービスを提供出来るように努めている。	個々の思いや希望を日々の生活の中で確認し、その人に合ったサービスを提供出来るように努めている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ある程度の活動の時間は決まっているが、参加は強制せずに本人の思いを尊重している。	ある程度の活動の時間は決まっているが、参加は強制せずに本人の思いを尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	コロナ感染の状況を確認しながら訪問美容に来て頂き、その人らしい身だしなみができるように支援している。	コロナ感染の状況を確認しながら訪問美容に来て頂き、その人らしい身だしなみができるように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食後の片付け、お盆・テーブル拭き等出来る範囲の事は一緒に行っている。おやつ作りなども企画し一緒に作って頂くこともある。	食後の片付け、お盆テーブル拭き等出来る範囲の事は一緒に行っている。おやつ作りなども企画し一緒に作って頂くこともある。	ご飯は施設で炊飯している。副食は外部委託で届いたものを湯煎して提供している。ソフト食の対応もある。細かくカットしたり、とろみについては施設で行っている。ひな祭りやおせちなどの行事食は華やかな食事が届き利用者は満足されている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の水分量や食事量の把握を行っている。摂取量が少ない方がいれば、医師に相談し必要に応じて高カロリー食品で補ったり、家族の方協力のもと、本人の好む食べ物や飲み物を提供し支援している。	一人一人の水分量や食事量の把握を行っている。摂取量が少ない方がいれば、医師に相談し必要に応じて高カロリー食品で補ったり、家族の方協力のもと、本人の好む食べ物や飲み物を提供し支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後はご利用者に応じた方法で口腔ケアを行ない、清潔保持に努めている。必要に応じて訪問歯科に往診に来て頂き口腔内の確認を行っている。	食後はご利用者に応じた方法で口腔ケアを行ない、清潔保持に努めている。必要に応じて訪問歯科に往診に来て頂き口腔内の確認を行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄の記録を確認しトイレ案内、見守りを行っている。出来るだけ日中はトイレでの排泄支援を行い自立に向けた支援を行っている。	排泄の記録を確認しトイレ案内、見守りを行っている。出来るだけ日中はトイレでの排泄支援を行い自立に向けた支援を行っている。	オムツ外しに取り組んでおり、昼間はトイレ介助(必要時には二人介助)が行われている。布パンツ使用者も居られる。紙おむつの費用負担減にも配慮されている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝体操や軽運動を行ない体を動かして頂けるようにしている。又、水分摂取にも注意し便秘の予防に努めている。	毎朝体操や軽運動を行ない体を動かして頂けるようにしている。又、水分摂取にも注意し便秘の予防に努めている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	週に2回以上の入浴日を設けているが、状況に応じていつでも入浴が出来るようにしている。体調やプライバシーに配慮しながら入浴が楽しめるようにしている。	週に2回以上の入浴日を設けているが、状況に応じていつでも入浴が出来るようにしている。体調やプライバシーに配慮しながら入浴が楽しめるようにしている。	浴室は家庭用のユニットバスである。20年使用した浴室であるがきちんと掃除されされており、傷みも見受けられない。脱衣所の床の張替は行われた。月曜日から土曜日を入浴日に設定されており、1日に3～4人入浴される。入浴を好まれない利用者には無理強いせず足浴や清拭などで対応することもある。入浴後の衣服の洗濯はすべて業者に委託され、雨の日の干場の問題が解決できた。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	その時々状況に応じて休息できるように、声かけを行い安心して睡眠が取れるようにしている。	その時々状況に応じて休息できるように、声かけを行い安心して睡眠が取れるようにしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	ご利用者の薬剤情報は事務所で管理すると共に変更や注意点があれば記録や申し送りを行い、全職員が把握・理解できる体制を整備している。症状の変化があれば主治医や訪問看護師及び薬剤師に相談し、安全に服薬支援が行えるようにしている。	ご利用者の薬剤情報は事務所で管理すると共に変更や注意点があれば記録や申し送りを行い、全職員が把握・理解できる体制を整備している。症状の変化があれば主治医や訪問看護師及び薬剤師に相談し、安全に服薬支援が行えるようにしている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	役割を持ちお手伝いをして頂いたり、日々のレクリエーションや毎月季節に応じた行事を企画したり楽しみや気分転換して頂けるように取り組んでいる。	役割を持ちお手伝いをして頂いたり、日々のレクリエーションや毎月季節に応じた行事を企画したり楽しみや気分転換して頂けるように取り組んでいる。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	コロナウイルスの影響もあり外出の際は主治医へ確認しながら安全に外出支援が行える様にしている。	コロナウイルスの影響もあり外出の際は主治医へ確認しながら安全に外出支援が行える様にしている。	春は桜、夏はスイカ、秋は紅葉、新年には神社詣でなど出かけている。日常的な外出として、玄関前にベンチを置き外の景色を眺めたり、ウッドデッキで日光浴をするなど閉じこもらない暮らしに組み組みたいと管理者やスタッフは考えている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	契約上原則的に金銭の持ち込みを禁止しているため、買い物レクリエーションなど必要な際は施設立替金にて買い物を楽しんで頂いている。 本人の強い希望や支援の観点(金銭を持っていないと不安症状がでるなど)により例外的に、家族協力のもとごく少額の金銭を自己管理をして頂いている場合があり外出の際には買い物もされている。	契約上原則的に金銭の持ち込みを禁止しているため、買い物レクリエーションなど必要な際は施設立替金にて買い物を楽しんで頂いている。 本人の強い希望や支援の観点(金銭を持っていないと不安症状がでるなど)により例外的に、家族協力のもとごく少額の金銭を自己管理をして頂いている場合があり外出の際には買い物もされている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	年賀状や、本人が希望されたり状況に応じて電話や手紙の代筆を行っている。	年賀状や、本人が希望されたり状況に応じて電話や手紙の代筆を行っている。		

自己	外部	項 目	自己評価／ユニットA() (事業所記入欄)	自己評価／ユニットB() (事業所記入欄)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた壁紙などフロアーや玄関に飾り付けを行い楽しんで頂いている。飾り付けの際はご利用者も一緒にお手伝いをして頂いている。	季節に応じた壁紙などフロアーや玄関に飾り付けを行い楽しんで頂いている。飾り付けの際はご利用者も一緒にお手伝いをして頂いている。	天井が高く、開放感を感じるリビングには、利用者と職員が共同作業で作成した作品が掲示されている。トイレや浴室、洗面所は きちんと整理整頓され、清潔が保たれている。掃除もきちんとされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共有スペースにはソファを設置したり和室など落ちついて過ごせる場所が提供出来るようにしている。隣のフロアーへの行き来も自由にしており、ご利用者同士の交流が出来るようにしている。	共有スペースにはソファを設置したり和室など落ちついて過ごせる場所が提供出来るようにしている。隣のフロアーへの行き来も自由にしており、ご利用者同士の交流が出来るようにしている。		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室にはご利用者の使い慣れた家具や希望の作品を持ち込んで頂いたり、壁に写真やレクリエーションでの作品を飾ったりと居心地の良い環境作りに努めている。	居室にはご利用者の使い慣れた家具や希望の作品を持ち込んで頂いたり、壁に写真やレクリエーションでの作品を飾ったりと居心地の良い環境作りに努めている。	古い家電などの火災に繋がるようなものは持ち込むことができないが、利用者の生活に即したものは自由に持ち込むことができる。自宅で座りなれた椅子を持ち込まれているケースもある。居室は車いすで移動できる十分な広さがある。掃除は早出の職員が声掛けしながら行われている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	本人やご家族の同意のもと、各居室にネームプレートを設置し、場所が分かるようにしている。トイレや浴室もそれぞれ分かるように明記している。	本人やご家族の同意のもと、各居室にネームプレートを設置し、場所が分かるようにしている。トイレや浴室もそれぞれ分かるように明記している。		

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)				
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	○	○	1. ほぼ全ての利用者の
				2. 利用者の2/3くらいの
				3. 利用者の1/3くらいの
				4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	○	○	1. 毎日ある
				2. 数日に1回程度ある
				3. たまにある
				4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)			1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
		○	○	3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない

項 目		取 り 組 み の 成 果		
		ユニットA	ユニットB	
		↓ 該当するものに○印をつけてください		
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目:28)	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目:9,10,19)	○	○	1. ほぼ全ての家族と
				2. 家族の2/3くらいと
				3. 家族の1/3くらいと
				4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)			1. ほぼ毎日のように
				2. 数日に1回程度ある
		○	○	3. たまに
				4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)			1. 大いに増えている
				2. 少しずつ増えている
		○	○	3. あまり増えていない
				4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目:11,12)	○	○	1. ほぼ全ての職員が
				2. 職員の2/3くらいが
				3. 職員の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての利用者が
				2. 利用者の2/3くらいが
				3. 利用者の1/3くらいが
				4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	1. ほぼ全ての家族等が
				2. 家族等の2/3くらいが
				3. 家族等の1/3くらいが
				4. ほとんどいない